

授業科目名	コーチングの哲学と倫理
科目番号	
単位数	1.0単位
標準履修年次	1年次
時間割	筑波:春学期 鹿屋:前期、月曜5限
担当教員	河合季信, 深澤浩洋, 齋藤健司, 山口 香, 本間三和子, 浅川 伸, 向井直樹, 勝田 隆, 會田 宏
授業概要	コーチの仕事と求められる資質および能力を理解するとともに, コーチング実践の根幹となる哲学と倫理について学習し, これからの時代にふさわしいコーチングを創造していく能力を養成する。また, 授業を通してコーチングに関する哲学および倫理について深く論考し, それらを報告し議論させることをとおして, コーチとしての自らの倫理感や哲学感, 視座を明確にする。
備考	筑波大学開講(遠隔授業)
授業形態	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	インテグリティ, 国際性, 創造力
授業の到達目標 (学修成果)	自らのコーチングを省察し, 新しい時代にふさわしいコーチングを創造できる能力を身につける。また, 国際的に活躍するコーチ, 社会のリーダー的存在となるコーチ, コーチを教育できるコーチング系の大学教員に必要な能力を修得する。 1) コーチングに求められる倫理観と人間性(インテグリティ)を確立すること 2) コーチングにおいて国際的に考え行動する能力を涵養すること 3) これからの時代や国際社会にふさわしいコーチングを創造していく能力を修得すること (コンピテンス: インテグリティ, 国際性, 創造力)
キーワード	コーチング, 哲学, 倫理
授業計画	1. コーチが有すべき指導哲学および指導倫理 (4/27) 2. コーチングとフェアプレー (5/11) 3. コーチングと人権 (5/18) 4. コーチングと暴力・体罰 (5/25) 5. コーチングとハラスメント (6/1) 6. コーチングとドーピング・薬物乱用 (6/8) 7. コーチングと事故防止・安全対策 (6/15) 8. 新しい時代にふさわしいコーチング 「インテグリティ」と「コンピテンシー」の視点から (6/22) 9. 新しい時代にふさわしいコーチングを議論する1 (6/29) 10. 新しい時代にふさわしいコーチングを議論する2 (7/6)
履修条件	
成績評価方法	評価の割合は, 発表60%, 討論への取り組み40%とし, 総合的に判断して, A+ ~ C、又はDの評定を行う。発表は, 構成力, 論理力, 要約力, 説明力などの観点から評価する。討論への取り組みは, 質問力, 回答力などの観点から評価する。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	コーチングに関連すると考えられる他分野の哲学および倫理に関する一般書や文献を読むこと。授業後に学修範囲を復習し, コーチング実践に応用できるよう理解を深めること。
教材・参考文献・配布資料等	授業中に配布する。
オフィスアワー	オフィスアワーは特に定めないが, 事前に連絡してから訪問すること。
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	
他の授業科目との関連	